

第10回函館桜友の会観察会

場所: 松前公園内光善寺境内 血脈ザクラ

松前公園サクラ保護保全活動の一環として、夫婦桜に引き続き血脈ザクラの樹勢維持向上を目的とした
 縦穴式による土壌改良が実施された。

道内外、各方面から多数の参加者がありました。
 土壌改良には様々な方法があるが、立地条件、予算などに応じ工法を選ぶことが可能であり、何より
 継続していくことが肝心である。

講師: 山上勝治(樹木医)函館桜友の会会員



サクラの名木保護を

松前 樹木医が管理法指導 H29.11.9



【松前】松前さくら保存
 研究推進協議会(清水猛会
 長)が10月29日、「松前桜
 維持管理講習会」を松前公
 園の光善寺境内で開き、関
 係者約30人が参加した。
 樹木医を講師に行う事

業。2回目の今年は、日本
 樹木医会会員で樹芸やまの
 え(函館)社長の山上勝治
 さんが、縦穴式土壌改良の
 技法を使い、同寺境内の名
 木「血脈桜」の維持管理法
 を指導した。

地上の枝の広がりと同程度
 の範囲になると説明。参加
 者たちは、枝先の地点の地
 面を目安にダブルスコップ
 なで直径約20センチ、深さ90
 センチほどの縦穴を16カ所掘
 り、孟宗竹もしょうちくを使った筒状の
 割り竹を入れて埋め戻し
 た。

縦穴や割り竹は、土中の
 通気性、透水性を高めると
 される。山上さんは「効果
 が表れるまで3年以上かか
 る。土壌改良の作業は毎年
 行つてほしい」とアドバイ
 スした。清水会長は「初め
 て知った技法。学んだ経験
 を生かし、サクラの名木保
 護につなげたい」と話して
 いた。
 (沢口俊夫通信員)

縦穴式土壌改良作業に取り組
 む参加者たち

割り竹挿入縦穴式土壌改良工 5/1/28

